

I 第1週の発生動向 (2016/1/4~2016/1/10)

1. 咽頭結膜熱については、八戸保健所管内で2015年第50週から**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で**警報**が発令されました。
3. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が発令されました。
4. インフルエンザについては、県計が2.18人/定点で流行開始の指標である1.00を上回り、流行シーズンに入りました。
5. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の77人から201人に増加しました。

II 第1週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ	37	2.85	32	2.13	37	2.47	14	2.00	16	1.78	6	1.00	142	2.18	107
RSウイルス感染症	5	0.63	12	1.33	3	0.30	9	1.80	2	0.33			31	0.74	4
咽頭結膜熱	1	0.13			22	2.20							23	0.55	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.63	11	1.22	22	2.20	1	0.20	5	0.83			52	1.24	23
感染性胃腸炎	47	5.88	27	3.00	26	2.60	10	2.00	29	4.83	62	15.50	201	4.79	124
水痘	4	0.50	2	0.22	3	0.30			5	0.83			14	0.33	-3
手足口病															-4
伝染性紅斑	4	0.50					1	0.20	3	0.50	16	4.00	24	0.57	16
突発性発しん	2	0.25	2	0.22	4	0.40			5	0.83	1	0.25	14	0.33	7
百日咳															0
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎	37	4.63							1	0.17			38	0.90	32
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00	1	1.00	2	1.00			7	0.64	-3
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎	1	1.00			1	1.00							2	0.33	2
マイコプラズマ肺炎									1	1.00	2	2.00	3	0.50	1
無菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市2人(2016年計:2人)
- ・E型肝炎(四類全数把握疾患)：東地方+青森市1人、弘前1人(2016年計:2人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・感染性胃腸炎患者(ふん便、12/16~12/21)・・・ノロウイルスGI.3型及びノロウイルスGII.3型：むつ1人、ノロウイルスGII.3型：むつ2人

感染症の窓

感染性胃腸炎 (五類定点把握疾患)

感染性胃腸炎は細菌又はウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、毎年秋から冬にかけて流行します。ウイルス感染が多く、病原体としては、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどがあります。

主な罹患年齢は幼児及び学童期とされており、2015年の青森県における年齢別報告数を見ても1歳をピークとする10歳未満の幼児及び学童期の患者が8割(82%)を占めていました(図1)。

2015年第38週以降の報告数の推移を見ると、全国、青森県ともに増加傾向が見られ、第51週にともに最高値(全国：10.67人/定点、青森県：6.79人/定点)を示しました。第52週、第53週は減少しましたが、青森県では2016年第1週は増加に転じており、今後の発生動向に注意が必要です(図2)。

予防対策は、流行期の手洗いと患者との濃厚な接触を避けることです。また、院内、家庭内、あるいは集団内での二次感染の防止策を考慮することが肝要です。

感染が疑われた場合は、最寄りの保健所やかかりつけの医師にご相談ください。また、保育園、学校や高齢者の施設等で発生したときは、感染の拡大を防ぐため、速やかに最寄りの保健所にご相談ください。

なお、ノロウイルスに関する知識と予防対策等については、厚生労働省HPの「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP、青森県感染症発生情報2015年第49週報

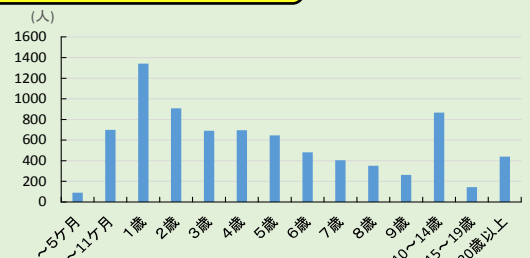


図1: 県内における年齢別報告数 (2015年第1週~2016年第1週)

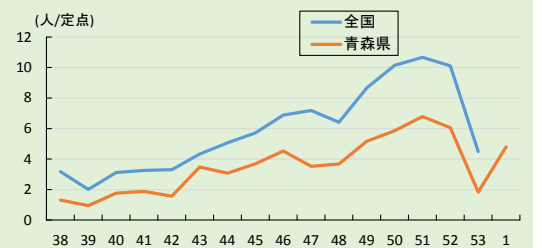


図2: 全国及び青森県における定点当たり報告数の推移 (2015年第38週~2016年第1週)

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第44週～2016年第1週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	アメーバ赤痢1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
46	H27.11.9 ~ H27.11.15	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人				
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人					
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			播種性クリプトコックス症1人			
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	後天性免疫不全症候群1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人					
50	H27.12.7 ~ H27.12.13		侵襲性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人		アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人	E型肝炎1人				

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第44週～2016年第1週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	1	3	1	1		1
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	5	2				
46	H27.11.9 ~ H27.11.15		1	1			1
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	2	2	1			
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			3		1	1
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	1	1	1	1	1	
50	H27.12.7 ~ H27.12.13	2					
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2					

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2015年第1週～第52週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コクシジオイテス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ボツリヌス症	マリア	野兔病	ライム病
累積報告数	23695	7	156	3553	36	31	210	240	23	5	4	3	60	17	409	289	212	2	5	1	41	2	10

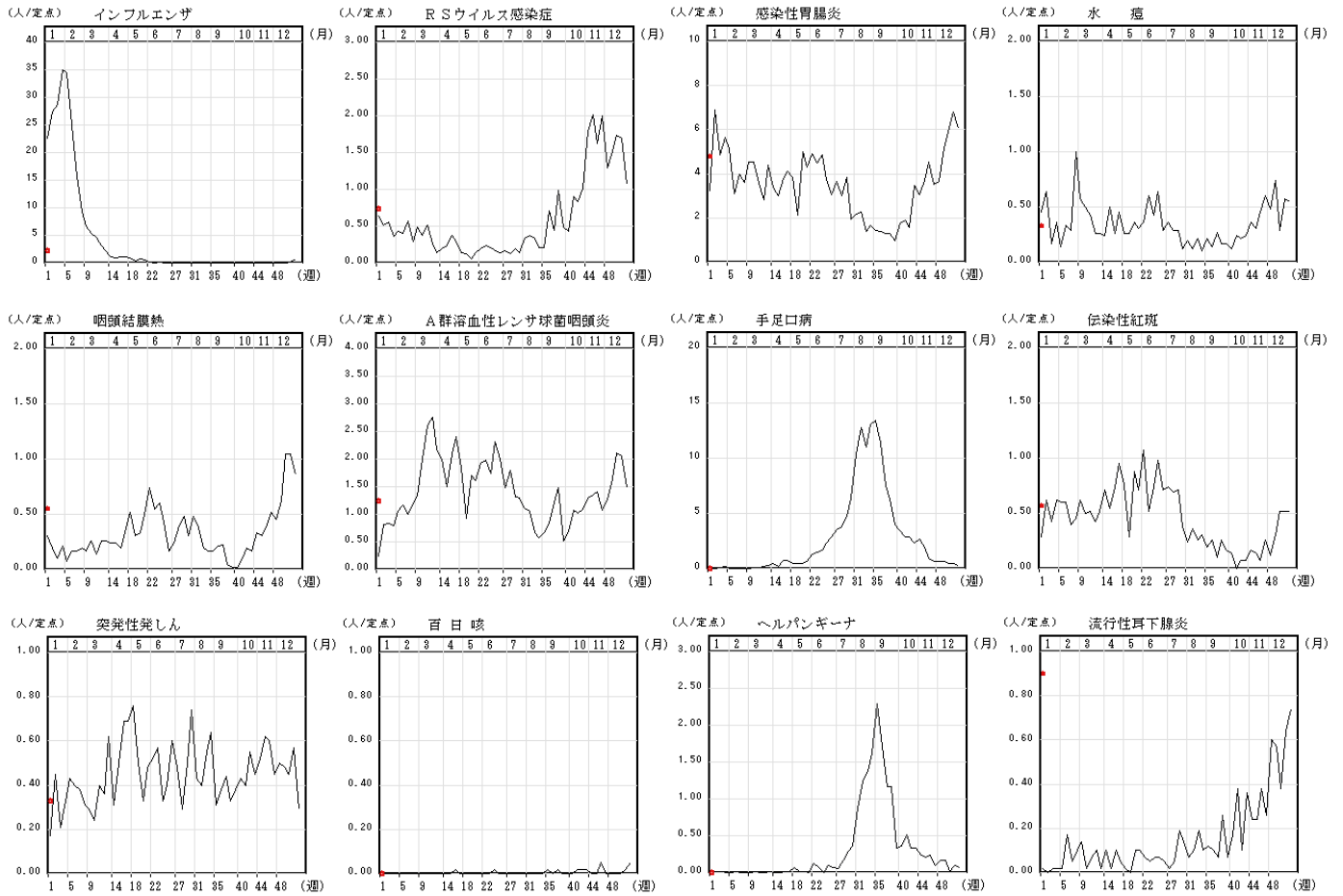
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネータ菌感染症	
累積報告数	1	1576	32	1084	249	1640	490	15	185	425	1408	77	247	32	2327	304	2638	116	117	64	162	35	37

青森県 (2016年第1週累計)

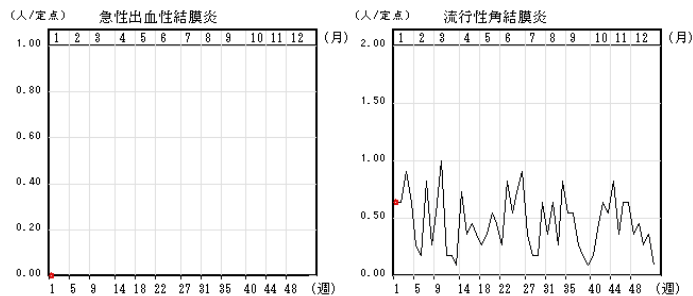
分類	二類	四類
疾病名	結核	E型肝炎
累積報告数	2	2

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第1週)

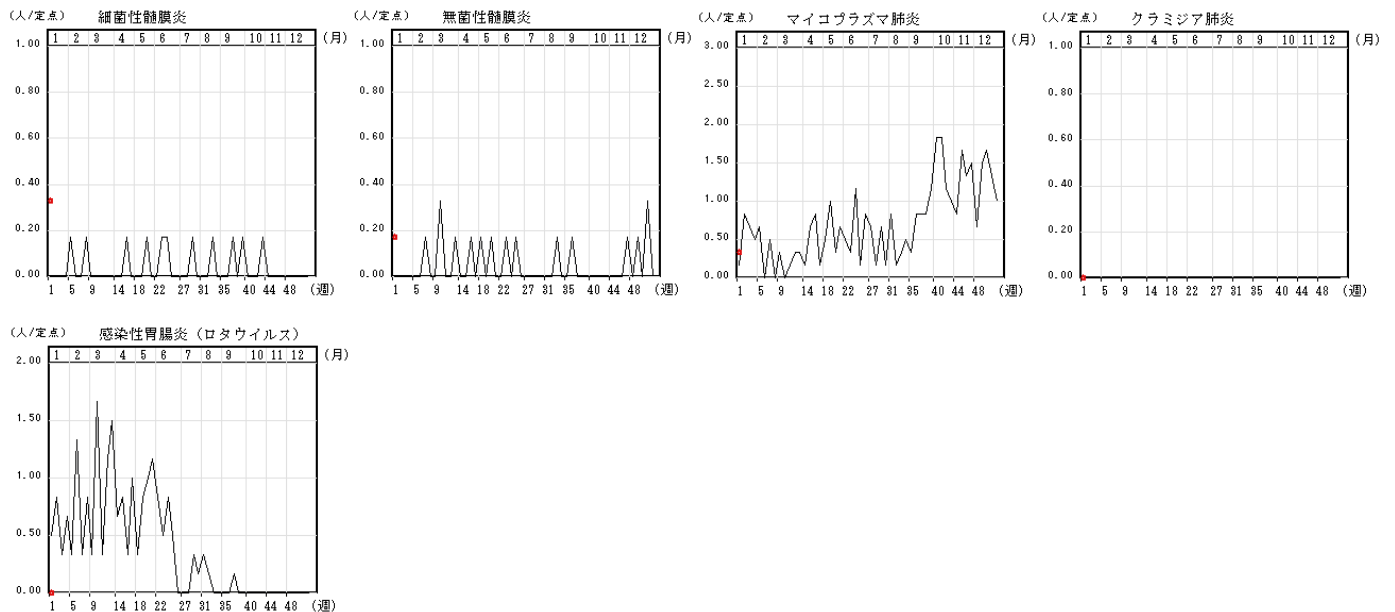
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第1週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第1週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第1週は報告がありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	計
		1週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0
	発症者数	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	0	0
	発症者数	0	0
障害関係施設	件数	0	0
	発症者数	0	0
その他施設	件数	0	0
	発症者数	0	0
計(月別)	件数	0	0
	発症者数	0	0